

★★★★★イベント報告★★★★★

ロックフィッシュを狙え！！ 穴釣り

小型のリール竿を使って、磯場のカサゴなどの根魚を狙います。皆さん果敢に海岸線を攻め釣りしました。その甲斐あって釣果もまずまずです。30 cm程の大物も釣れましたよ♪ 竿をアクションしながら、アグレッシブに探る釣りなので皆さん休憩するのも忘れてひたすら釣りに夢中。釣った魚はさばいて唐揚げにして食べました。とても美味しかったです。皆さんも是非釣りに挑戦してみてください。香山(かやまん)



南房総ロングトレイル 第一回目

～里見ハ犬伝ゆかりの地 富山踏破と伊予ヶ岳を望む道～
今年度第一回目の南房総ロングトレイル実施しました。富楽里とみやまをスタートし、南総里見ハ犬伝の舞台となった、伏せ姫籠穴へ。簡単に里見ハ犬伝のストーリーをご説明しました。そしていよいよ富山山頂へ。40分ほど登れば360度のパノラマが広がっていました。林道を下りきったところで、川名みかん農園さんからみかんをいただき堪能しました！最後は伊予ヶ岳の麓、平群天神社に到着し finish！天気も良く心地よいトレッキングとなりました。白井(ねぎ)



お知らせ

部活動やスポーツ団体の合宿におススメ！！

冬の特別キャンペーン実施中！

★1月宿泊スペシャル価格！ 25名様以上のご利用で宿泊料金がお安くなります！

※割引期間：平成31年1月限定

- ・子ども 1,300円 → 800円 ※3歳以上中学生以下
 - ・高校生 2,000円 → 1,500円
 - ・おとな 2,500円 → 2,000円 ※18歳以上
- ※利用には別途食事料金が掛かります。 ※青少年教育団体料金です。



★50名以上の宿泊で貸切利用が可能!! (先着順)

※貸切可能期間：平成30年12月17日(月)～平成31年2月28日(木)

貸切でご利用いただくと、他団体の動きを気にせずにプログラムを組み立てることができるので「1日中体育館を使用し、みっちり練習!」といったことも可能です。部活動の冬合宿等にもおススメです！ご宿泊での利用をご検討中の皆さまは、ぜひお早めにご予約ください。

イベント用 facebook ページ開設しました！⇒

南房総自然体験 facebook ページで検索！！

「南房総で自然体験

野遊び倶楽部」



【発行元】南房総市大房岬自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NP0 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23

メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564

ホームページ: http://taibusa.jp/

はなっと・・・房州弁で「岬(先端)」。大房岬から、たくさんの耳よりな情報をみなさんにお届けします！

【冬号/NO.92】



はなっと通信

大房岬の近況報告



所長の講義を受ける受講生の方々。とても真剣です！

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。大房岬の冬の寒さもいよいよ本格的になってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

冬の時期は団体宿泊利用が落ち着いてくる一方、各自治体・団体からのご依頼で講師出張や、各種講座の実施等が多くなる時分でもあります。先日もこの大房岬で、「ヘルスツーリズムガイド養成講座」を実施しました。(※この取り組みについては右記をご参照ください。<https://minamiboso-therapy.com/>「南房総セラピー」)

南房総エリアにお住まいの20人弱の方にお集まりいただき、「お客様を自然の中へお連れする」というキーワードで、インタプリテーションや火・刃物の使い方、安全管理についての実習・講義を行いました。(※詳しくは所長の目線をご参照ください) 実際に皆さんに体験していただいて、「刃物で木を削るのなんて何十年ぶり!」「やっぱり空気がきれい!」との声も上がり、自然の素晴らしさを改めて感じていただくことができました。特に多かったのが、「大房岬ってこんなに良いところだったんだ!」との声。小学生の時以来久しぶりに

訪れた方も、南房総へ移住して初めて来たという方も、口をそろえて仰っていました。そして皆さん次の言葉は、「もっと多くの人に大房岬の良さを伝えたい」「自分でもここで活動したい」というものでした。

私たちはこの地を最高のフィールドだと自負して、子どもから大人まで様々な方に自然体験活動プログラムを提供させていただいていますが、地域の方にそのような評価を頂戴するのはやはり非常に嬉しいことです。この大房岬や自然体験の魅力を多くの方にお伝えすること、それも我々だけではなく共感してくださる方々と一緒に取り組んでいくことが肝要だと改めて実感しました。今後もますます情熱と責任を持って、お伝えし続けてまいります。

所長の目線

「つながりと育ちの場 NEALリーダー養成講座」

NEAL(ニール)とはNature Experience Activity Leaderの略です。日本語では自然体験活動指導者と訳されます。

講座で扱うテーマは、

■人と人の相互理解の大切さを学ぶ

■人と自然の結びつきを学ぶ

■自然体験活動に求められる技術を学ぶ

■命を守る・助けるための知識と技術を学ぶ

■伝える・伝えるための自然解説技術を学ぶ

などです。これらを実技と座学を組み合わせ3日間で体験的に学ぶのが講座の特徴といえます。

参加者の受講動機も実に多様ですし、3日間の学びの場は新たな知識と技術を身に付けて実にポジティブな雰囲気になります。そして、ここで出会った仲間とのつながりが、刺激を生み、さらなる成長を促しますし、実は我々運営スタッフも、この講座での人とのつながりが大きな財産となるのです。



●休所日情報● 1月～3月の休所日は次の通りです。

1月1日(火)～4日(金)、15(火)、2月4日(月)、

3月11日(月)～13日(水)、31日(日)



プログラム紹介 ★駅からラリー★

富浦駅から自然の家までの間を歩いたことはありますか？実は、岬の中だけでなく地域を知ることができるプログラムもあるんです。車やバスで通り過ぎてしまう街中や、あの急な坂。みんなで歩いてみると、いつもと違う景色を見ることができたり、新しい発見があるかもしれません。チェックポイントで出されるいろいろな課題を解きながら、グループごとに散策してみましょう。鈴木（りん）



道中にはなんだか不思議なオブジェが…



貝殻を探して持ち帰る課題も！
見つけれられるかな？



海岸へ行くと、長い桟橋が！素敵なお景色もたくさん見つけたいですね。



ごはんのはなし

●○● 温かいスープで朝を迎えよう ●○●

だんだんと気温が低くなり、朝はなかなか布団から出るのが億劫な季節がやってきましたね。1日のうち、最も寒い時間は日の出の前後1時間程度、そして最も体温が低いのが朝4時～8時頃だそうです。寒さは低体温につながり、低体温が続くと免疫力が落ち、風邪や体調不良などを引き起こしやすくなります。

そんな低体温を防ぐには暖房器具も効果的ですが、朝は朝食・スープで身体を温めましょう。朝食にスープを食べると1℃から2℃体温が上昇し、最大で2時間程度温かさが持続するそうです。スープには根菜やショウガなど身体を温める具材を使ったり、とろみをつけたりするとより効果がアップします。

たいぶさ食堂では朝食にご飯の日はみそ汁、パンの日はコーンスープがつけます。身体の中から温めて、一日を元気に過ごしましょう。

山崎（だいすけ）



野遊び日和 南房総厳冬期トレッキング



心者でもチャレンジしやすい環境です。

その中でも、比較的登りやすいのは、富山三山と呼ばれている「富山」「伊予ヶ岳」「御殿山」です。ルートも整備されており、頂上からの景色は格別。この時期是非足をお運びください。当施設主催イベント南房総ロングトレイルのコースとしても設定しています。良い野遊びライフを！

白井（ねぎ）

※ルート情報は事前にガイドブックなどでお調べください



みなみぼうそう たくみ き 南房総の匠に聴く！ vol.26 「座間木材」



座間 善治郎さん

☆野外炊飯やキャンプファイヤーなどで使用する薪は、全て南房総市平群地区の「座間木材」さんに卸して頂いています。

この薪はどのようにして作られているのですか？

南房総市内や一部鴨川の山などの杉の木を使っています。自分で所有している山へ入り、切ってくることもあります。建築用材として使われない廃材や間伐をした際に切った木を、ちょうど良い大きさに加工して薪にしています。建築用材の廃材は多くの場合、紙の原料のチップや火力発電の燃料等として処分されていますが、こちらでは皆さんからの要望があるので、薪として有効活用することができます。

間伐についても詳しく教えてください

木が密集してしまうと日があたらなくなってしまう、木の成長が阻害されてしまいます。大きな木を育てるためには、植林後7～8年で枝を落としてきれいにし、その後15～20年目、30～35年目頃に間伐をして、環境を整えてあげなければなりません。1ヘクタールあたり3000本位植えますが、その内、大木として残すのは400～500本程です。木が大きく育つまでに50年位かかるので、自分で植えた木は使うことは難しいですが、子どもや孫の世代まで残していくためにも大切な仕事です。

子どもたちに伝えたいことはありますか？

自然環境のことをぜひ考えてみてほしいです。「治山（ちさん）」という言葉がありますが、山の木が水を蓄え、土砂崩れを防ぐなど、まさに木が山を守っているのです。しかし、今では安価な外国産の木の方が多く流通して90%程のシェアを占めており、日本の林業は衰退の危機にさらされています。20年位までは自分の山で切ってきた木を使って家を建てる人もいましたが、今ではほとんどいません。しかし林業はこれまで私たちの暮らしを支えてきた大切な産業であり、無くしてはいけません。皆さんにもぜひそのことを一度考えてもらえたら嬉しいです。

たいぶさ樹木ずかん

フウトウカズラ
（コショウ科コショウ属）



常緑でつる性の木本。海岸～沿海地の林内に多く自生しています。冬季になると赤色の粒上の果実をつけます。別名「ツルゴショウ」と呼ばれており、調味料のコショウと近縁で、葉をもんだり噛んだりするとコショウの様な風味がします。

園内の木によく絡んでいますので、ぜひ葉を手にとって匂いや味を体験してみてください。

場所：公園内全域

スタッフのつぶやき

テーマ「お年玉をもらったら何に使う？（1万円!）」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

焼肉、すき焼き、タイ料理、粉もん料理などなど
たらふく食べる。 香山（かやまん）

疲れをいやす温泉旅行に旅立つ！ 白井（ねぎ）

「名刺入れ・手帳・メリノウール・及源のホットサンドメーカーからチョイス。 神保（ジン）

新しいフィンを買いたいです！フルセット！（ちょっと足りないかも…羊） 鈴木（りん）

好きな本、漫画を大人買い！ 花嶋（ぼによ）

好きな人と食事 or 家のローンの返済！ 松田（料理長）

腕時計かカメラを買う足しにします。どちらも高額なので…。 山崎（だいすけ）